

福利厚生事業アンケート

～ 人間ドックについて ～

公立学校共済組合東京支部では、疾病の早期発見と予防を目的として人間ドック事業を実施しています。人間ドックは肺、女性健診、脳のオプション検査をつけることができる基本ドック(日帰りドック)の他、器官別健診(単独検査)として胃内視鏡検査、女性健診があります。

集計結果(広報誌「かがやき」より抜粋)

人間ドックについて

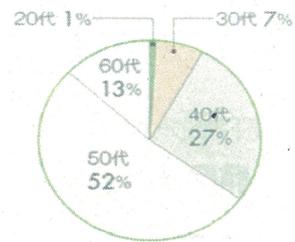
共済組合で実施している人間ドック事業の利用状況を聞いたところ、その結果、「受診したことがない」が63%でした。受診したことがない方の理由では、下のグラフにある理由のほか、「時間がない、忙しい」、若年層では「まだ受診する必要性を感じない」というものが多数ありました。

受診したことがある方の年代別内訳では、50代が52%で最も多く、次いで40代が27%で40代及び50代で約8割でした。

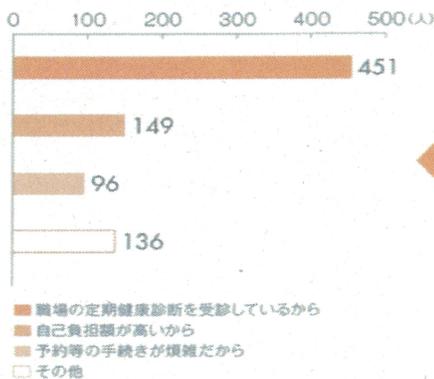
受診した理由として、「定期健康診断より検査項目が多いから」「検査項目によっては精密な検査があるから」などの回答がありました。

また、人間ドック受診時に受診したいオプション検査は、男性が「脳」「大腸がん」「肺」、女性が「女性健診」「脳」「大腸がん」の順でした。

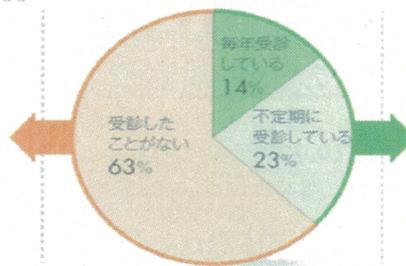
受診者の年代別



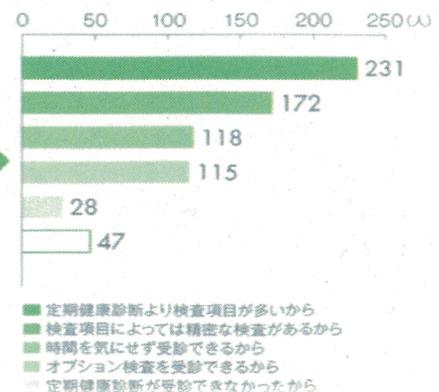
人間ドックを受診したことがない理由(複数回答可)



人間ドック受診の有無



人間ドックを受診した理由(複数回答可)



【人間ドックについての自由意見】

- ・東京都内に住んでいないので指定病院までが遠い。東京近郊の病院も指定病院に入れてほしい。
- ・人間ドックの事業があることを知らなかった。機会があれば受診したい。
- ・どんな検査がどれくらいの費用で受けられるのかわかりにくい。
- ・長期休業中に利用することで授業を気にせず、1日でできてその日のうちに説明まで受けられるのがよい。